

ダムからの補給により記録的な渇水を乗り切る

～2,400万m³（山形県庁183杯分）の水をダムから補給～

白川ダムと長井ダムが完成してから、最大規模の記録的な渇水となりました。

しかし、ダムからの補給と関係する利水者との緊密な連絡調整・協力体制により渇水を乗り切ることが出来ました。

ダムが無ければ、6月中旬から必要な水が確保できず、深刻な渇水被害の発生が想定されました。

- ・最上川流域では、6月以降の小雨により平成27年度以来の渇水となりました。
- ・特に、最上川上流に位置する白川ダムと長井ダム流域では、6月から7月の降水量が平年の2～3割と極端に少ない状況に加え、7月から8月にかけて約1ヶ月間は雨がほとんど降らず記録的な渇水になりました。
- ・また、白川ダムにおいては、ダムが完成し管理に移行してから最低の水位を記録し、かんがい用水等への水補給や河川環境の悪化が懸念されました。
- ・この状況は8月下旬まで続きましたが、各関係機関が一丸となって協力し緊密な連絡調整を行い、限られたダムの水を有効に補給することで、無事に渇水を乗り切ることが出来ました。
- ・農業関係者からは、「いかにダムに依存しているかを再認識した」や「今年ほどダムがあって良かったと感じた事はない」などの声が寄せられました。

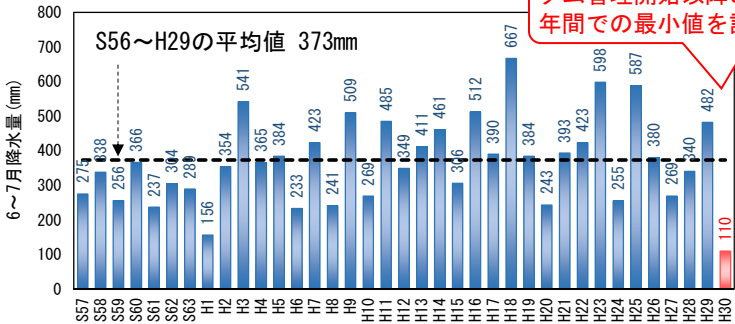
【発表記者会：山形県政記者クラブ】

問い合わせ先	
国土交通省 東北地方整備局 最上川ダム統合管理事務所	
山形県西村山郡西川町大字砂子関158	
副所長（技術担当）	さかもと さとし 坂本 悟（内線204）
管理課長	あべ けんいち 阿部 健一（内線331）
電話	0237-75-2311（代表）

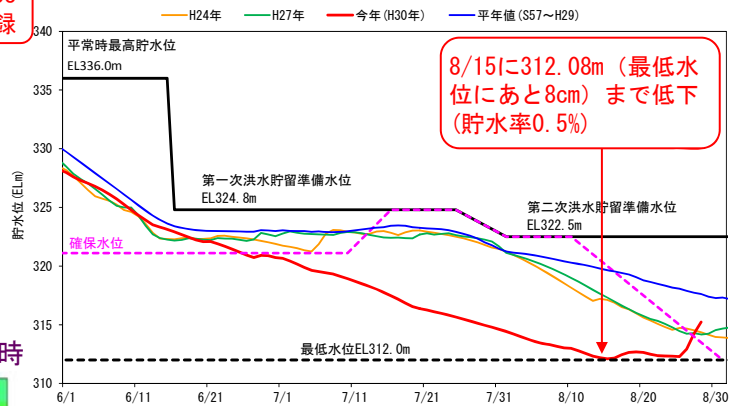
平成30年渇水における渇水対応 ～白川ダム～

- 今年是最上川上流域において降水量が少ない傾向にあり、**白川ダム流域の6,7月の累積雨量は**平年値に対して約30%程度しかなく、**管理開始(S56.10)以降で最小値を記録。**
- 7月第2週から8月第1週までの約1ヶ月間ほとんど降雨無く、**白川ダムの貯水位は低下する一方で8月15日には最低水位にあと8cmまで貯水位が低下。(管理開始以降最低)**

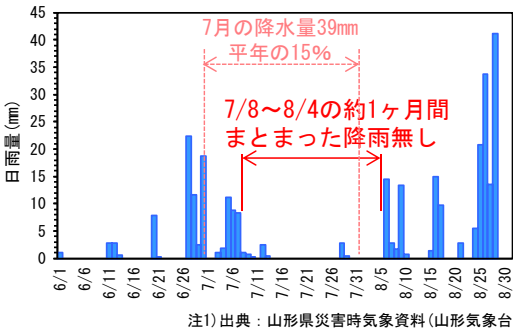
〔白川ダム流域の6,7月累積雨量〕



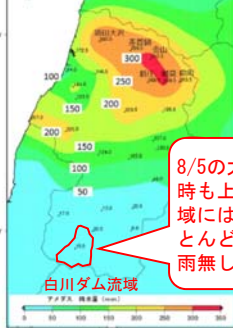
〔貯水位運用状況(過去の渇水年及び平年値との比較)〕



〔白川ダム流域の6～8月間の降水状況〕



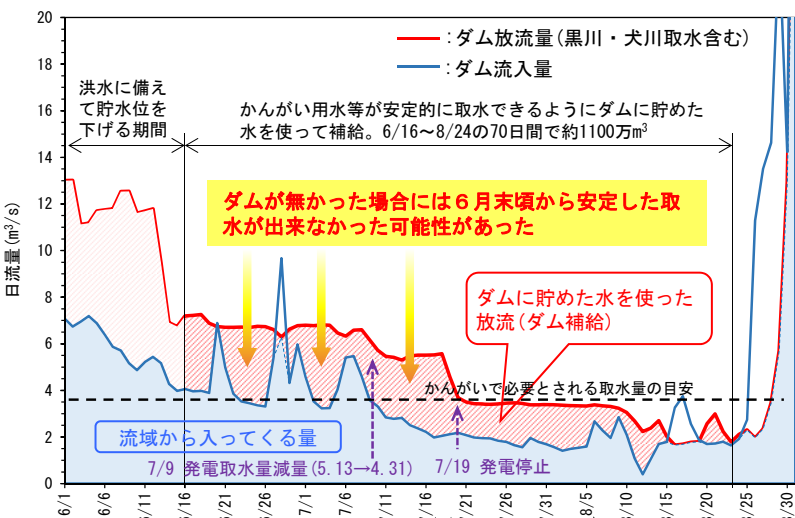
〔8月5日6時から6日18時までの積算降水量〕注1



平成30年渇水における渇水対応 ～白川ダム～

- 白川ダムと利水者が連携し、調整を図りながらきめ細かくダム運用(補給)を実施
- 貯水位が最低水位を下回り、深刻な渇水被害が懸念されたため**最低水位以下の容量を活用する事について関係者間で合意。**
- 白川ダムではかんがい用水等に対して、6月15日～8月24日の70日間で延べ約1,100万m³の水(山形県庁84杯分に相当)を供給。
- その結果、ダム管理開始以降の最大規模となった今回の渇水において、深刻な**渇水被害は発生しませんでした。**(H30年産水稻 置賜地区の**作柄は「平年並み」の見込み**(東北農政局9月28日発表))

〔白川ダムの補給状況〕



農業関係者の声

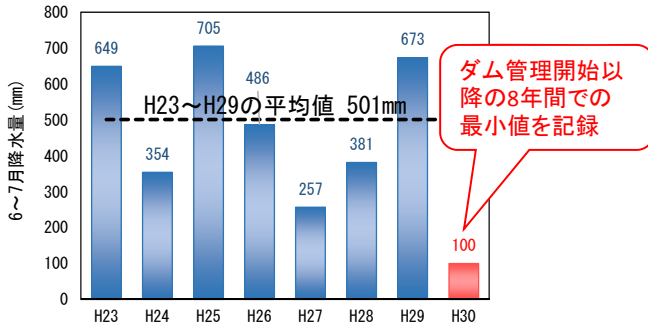
- 今回の渇水で、いかに白川ダムに依存しているかを再認識した。
- 無事収穫を迎えられるので、ダムのお陰と感謝する。8月上旬には稲が枯れ始め被害が出ると思われた。水の大切さを改めて感じさせられた。
- 底水(最低水位以下の水)を活用する事について事前に関係者間で合意が出来たことは安心感に繋がった。
- 今までに無いような渇水という状況下でも大きな被害(水不足による)が生じなかったのは本当に良かった。

- 関係者との調整会議等の開催状況
- 7/18 白川ダム利水調整会議
 - 7/20 渇水対策支部設置(最上川ダム統管)
 - 7/31 白川ダム利水調整会議(第2回)
 - 8/7 白川ダム利水調整会議(第3回)
 - 8/29 白川ダム利水調整会議(第4回)

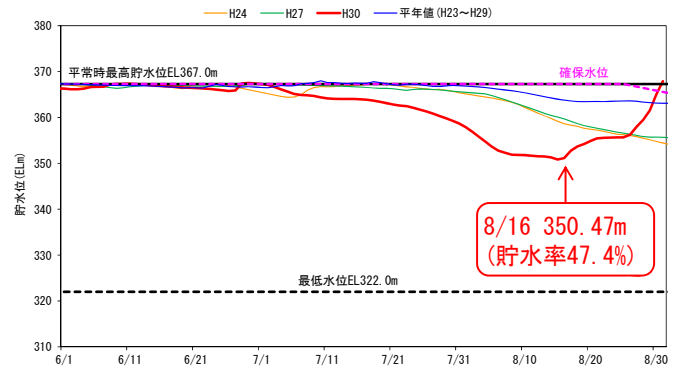
平成30年渇水における渇水対応 ～長井ダム～

- 今年是最上川流域において降水量が少ない傾向にあり、**長井ダム流域の6,7月の累積雨量**は平年値に対して20%程度しかなく、**管理開始(H23.4)以降で最小値を記録**。
- 7月第2週から8月第1週までの約1ヶ月間ほとんど降雨無く、8月15日には**貯水位がダム管理開始以降で第2位**となる350.47mまで**低下**。(最低はH24年10月29日の347.16m)

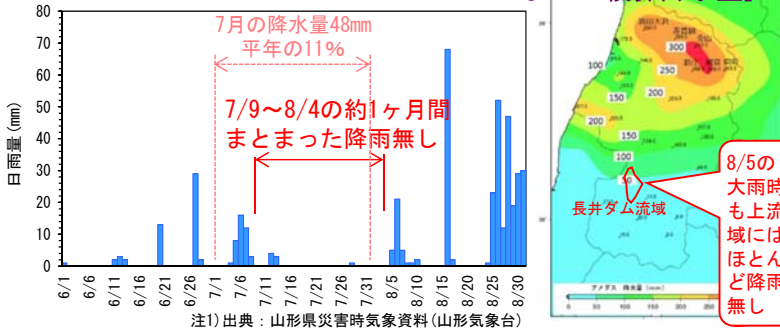
[長井ダム流域の6,7月累積雨量]



[貯水位運用状況(過去の渇水年及び平年値との比較)]



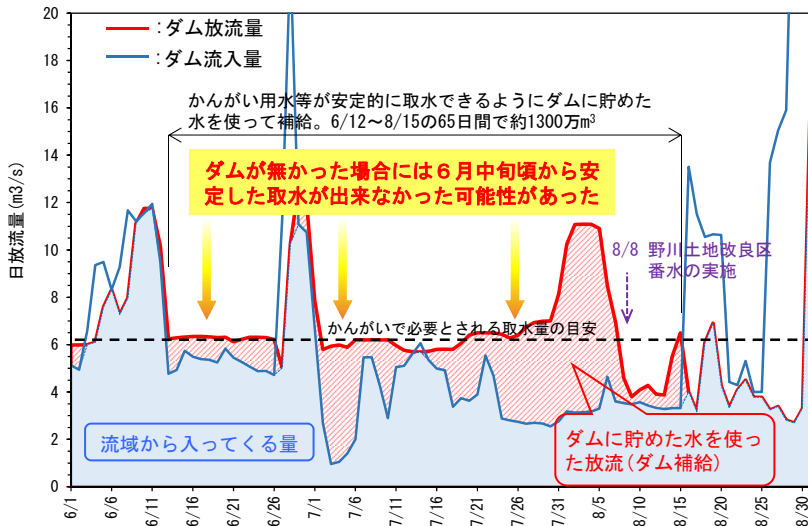
[長井ダム流域の6～8月間の降水状況] [8月5日6時から6日18時までの積算降水量]



平成30年渇水における渇水対応 ～長井ダム～

- 長井ダムと利水者が連携し、調整を図りながらきめ細かくダム運用(補給)を実施**
- 長井ダムではかんがい用水等に対して、6月12日～8月15日の65日間で延べ約1,300万m³の水(山形県庁99杯分に相当)を供給。
- その結果、ダム管理開始以降の最大規模となった今回の渇水において、**深刻な渇水被害は発生しませんでした**。(H30年産水稻 置賜地区の**作柄は「平年並み」の見込み**(東北農政局9月28日発表))

[長井ダムの補給状況]



農業関係者の声

- ・常日頃から恩恵を受けてはいるが、今年ほどダムがあつて良かったと感じた事はない。
- ・今回の渇水では、早い段階で長井ダム管理支所から「情報」及び「シミュレーション」の提供があつたことから、混乱無くまた効率的な番水を実施することが出来た。
- ・野川土地改良区管内では水不足になつた所もなく無事かんがい期間を終了することが出来た。これもダムのおかげと感謝している。

関係者との調整会議等の開催状況

7/26 長井ダム利水調整会議(第1回)

9/6 長井ダム利水調整会議(第2回)